

(5) 広域交流ネットワークの確立

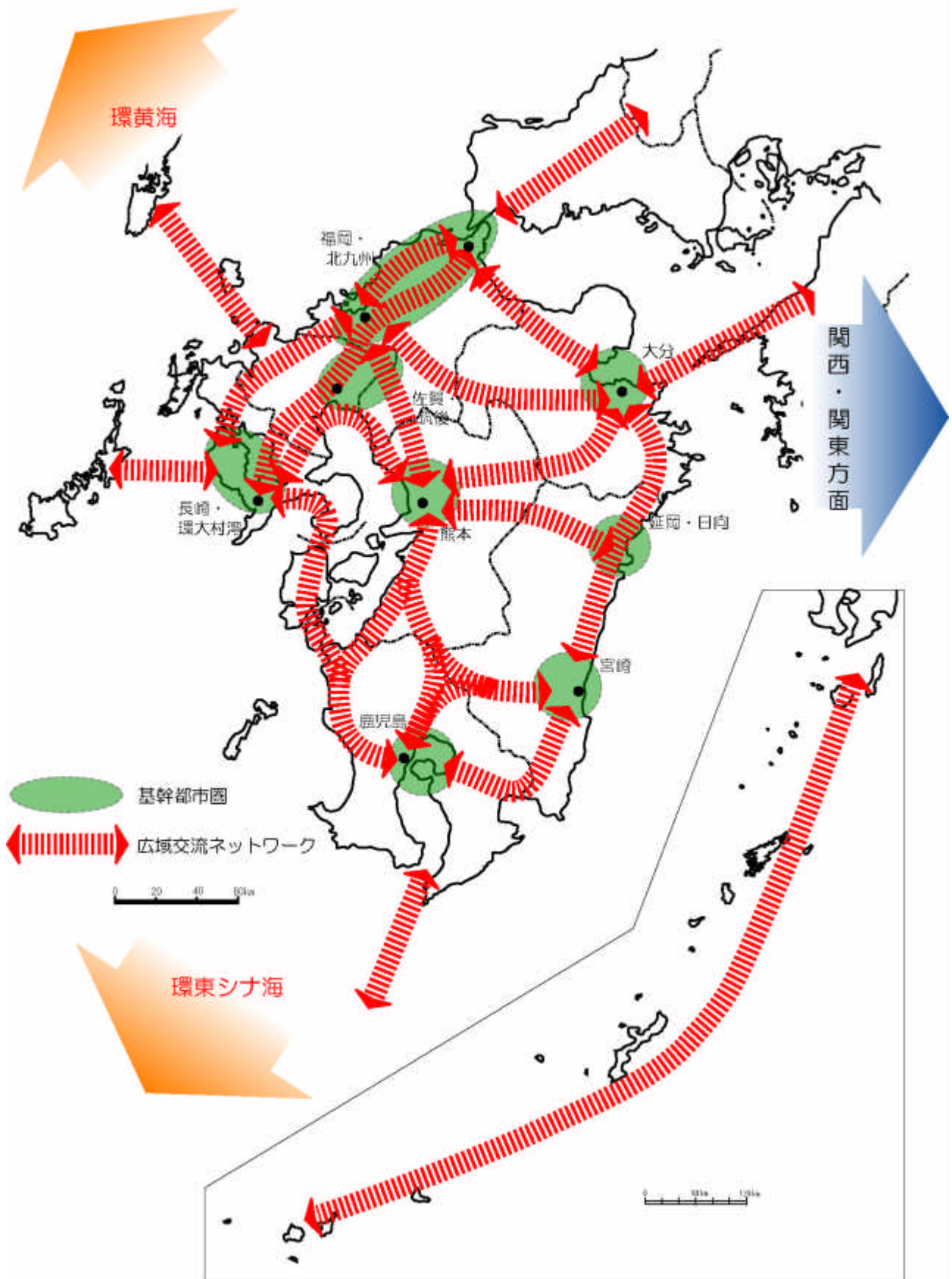
九州の力強い産業経済の発展と地域の日常生活を支える交通体系の充実が必要となっている。そのため、九州内を広域的に活動できるよう、基幹都市（福岡・北九州、大分、佐賀・筑後、長崎環大村湾、熊本、延岡・日向、宮崎、鹿児島）間の3時間圏域の確立を目指すとともに、九州外との交流促進に向け、主要な地域拠点としての機能を果たす港湾、空港等についてその機能を強化し、道路、新幹線、港湾、空港等の連携により広域交通ネットワークを形成する。

また、個々に魅力を高めた多自然居住地域や都市の機能を互いに結ぶアクセス道路・海上ネットワークの整備及び情報通信ネットワークの構築を支援することにより交流・連携を促進し、定住及び交流人口の拡大による地域活力の向上を図る。

【重点目標】 産業経済・地域を支えるため、基幹都市間の3時間圏域の形成を目指す。

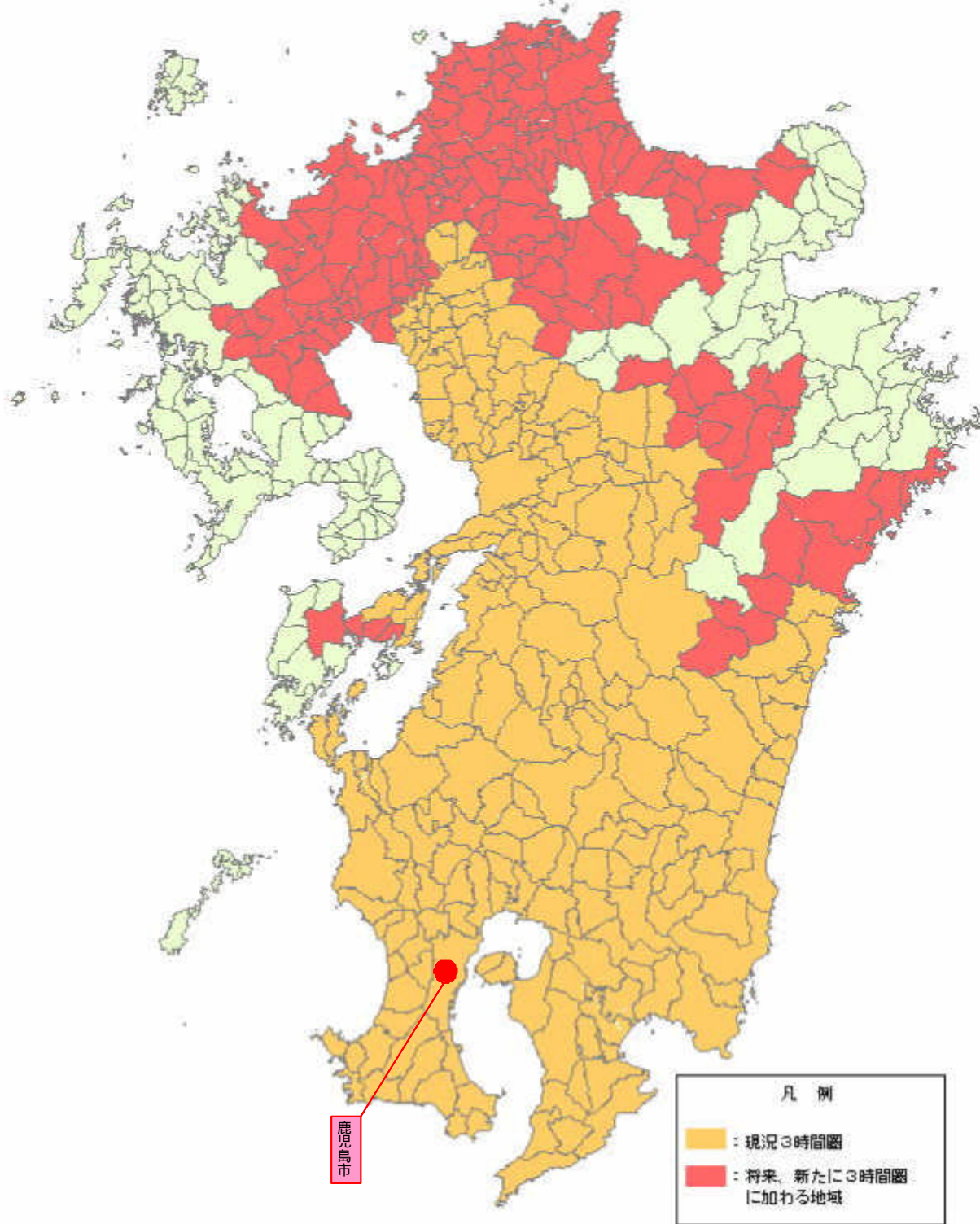
- 1

基幹都市及び地方生活圏中心都市を連携強化する循環型広域交流ネットワーク構築のため、国土の骨格を形成する大量・高速交通機関であり、基幹都市間の移動時間の大幅な短縮に資する整備新幹線、高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備を図るとともに、広域交流ネットワークを補完する幹線鉄道や幹線道路の整備をすすめ、基幹都市間の3時間圏域の確立を図り、産業経済の発展や日常生活の安定を支える。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 基幹都市圏間ネットワークの形成に沿う地域連携軸



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 鹿児島市からの日帰り圏(片道でおおむね3時間以内で到達できる範囲)

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・規格の高い道路のIC等まで30分以内で連絡可能な二次生活圏中心都市の割合	67%	78%	-	
・基幹都市からの3時間交流可能人口	約7,900万人	約8,000万人	約9,500万人	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

九州新幹線鹿児島ルート¹の整備

高規格幹線道路

東九州自動車道、九州横断自動車道、

西九州自動車道、南九州西回り自動車道 等

地域高規格道路 等

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

九州新幹線鹿児島ルート¹の整備

高規格幹線道路、地域高規格道路の整備：

東九州自動車道（福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

九州横断自動車道延岡線（熊本県）

国道10号延岡道路（宮崎県）【H17年度一部供用予定】

国道218号北方延岡道路（宮崎県）【H17,H19年度一部供用予定】

国道3号南九州西回り自動車道日奈久芦北道路（熊本県）

【H16年度一部供用予定】

国道3号南九州西回り自動車道川内道路（鹿児島県）

【H16年度一部,H18年度供用予定】

国道497号西九州自動車道唐津道路（佐賀県）【H17年度一部供用予定】

国道497号西九州自動車道佐世保道路（長崎県）【H19年度供用予定】

国道202号江上バイパス（長崎県）【H17年度供用予定】

国道206号小迎バイパス（長崎県）【H17年度一部供用予定】

（一）延岡インター線 野田工区（宮崎県）【H17年度供用予定】 等

【重点目標】交通機関連携による総合的なネットワークの構築を進める。

- 1

九州の産業経済・地域活動の支援に向けて、複数の交通機関の連携を通じて利用者のニーズに対応した効率的で良好な交通体系を整備するため、空港・港湾等の交通拠点の整備及びそれらと周辺インターチェンジ等を結ぶ幹線道路の整備をすすめ、総合的な交通ネットワークの構築をすすめる。

■空港・港湾などへのアクセス道路の整備のイメージ

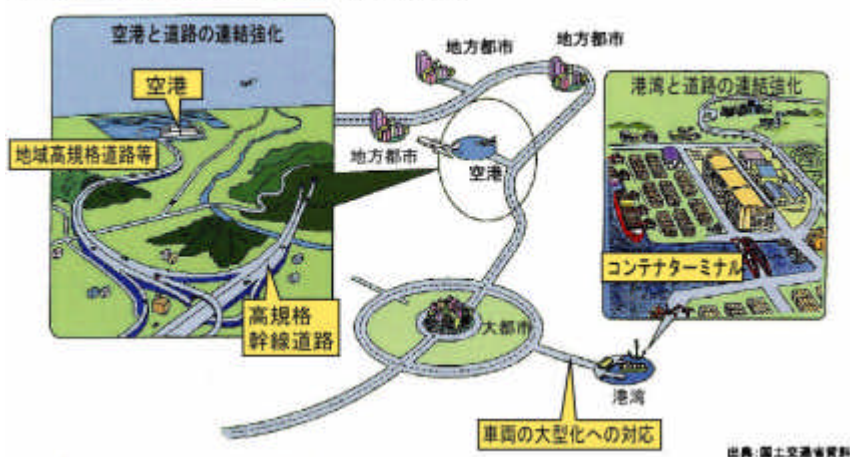
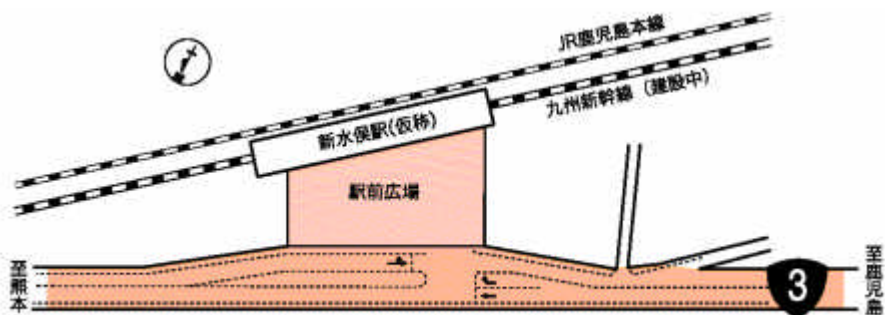


図 空港港湾などへのアクセス道路の整備



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 一般国道3号 新水俣駅周辺地区整備 (H15年度全体完成)



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 新水俣駅周辺地区整備イメージ



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 新若戸道路イメージ図

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・規格の高い道路のIC等から10分以内で連絡可能な主要な空港・港湾の割合 1)	約47%	約57%	概ね達成	

は長期的目標。

1)主要な空港・港湾：

空港：第二種空港及び第三種空港（離島に位置するものを除く）

港湾：特定重要港湾及び重要港湾（離島に位置するものを除く）

【主要施策・主要事業】

高規格幹線道路、地域高規格道路、一般国道・地方道の整備

新北九州空港の整備

複合一貫輸送ターミナル整備：中津港

港湾アクセスの整備：臨港道路（北九州港、伊万里港、長崎港 等）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

高規格幹線道路の整備

地域高規格道路の整備：

国道208号有明海沿岸道路（大牟田～大川西）（福岡県）

【H19年度供用予定】（再掲）

国道208号有明海沿岸道路（大野島～佐賀）（佐賀県）

国道3号黒崎バイパス（北九州市）【H19年度一部供用予定】（再掲）

（一）新北九州空港線（福岡県） 等

交通結節点：国道3号新水俣駅周辺地区整備（熊本県）【H15年度供用】 等

新北九州空港の整備

中津港田尻地区複合一貫輸送ターミナル

港湾アクセスの整備：北九州港洞海地区臨港道路（新若戸道路）、伊万里港久原南・瀬戸地区臨港道路、長崎港女神地区臨港道路 等

九州内の主要な空港について、航空需要の動向等を踏まえつつ、適切な機能強化を図る。北部九州地域においては、新北九州空港の供用に向けた着実な整備を図るとともに、主要地域拠点空港のうち将来的に需給が逼迫する等の事態が予想される福岡空港については、将来にわたって国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮しうよう、圏域における今後の航空需要の動向等を勘案しつつ、既存ストックの有効活用方策、近隣空港との連携方策とともに中長期的な観点からの新空港、滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策等について幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進め、適切な対応を図る。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 新北九州空港完成イメージパース

【主要施策・主要事業】

新北九州空港の整備（再掲）

福岡空港の総合的な調査を進め、適切な対応

福岡空港の双方向 I L S () の整備による就航率向上

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

新北九州空港の整備（再掲）

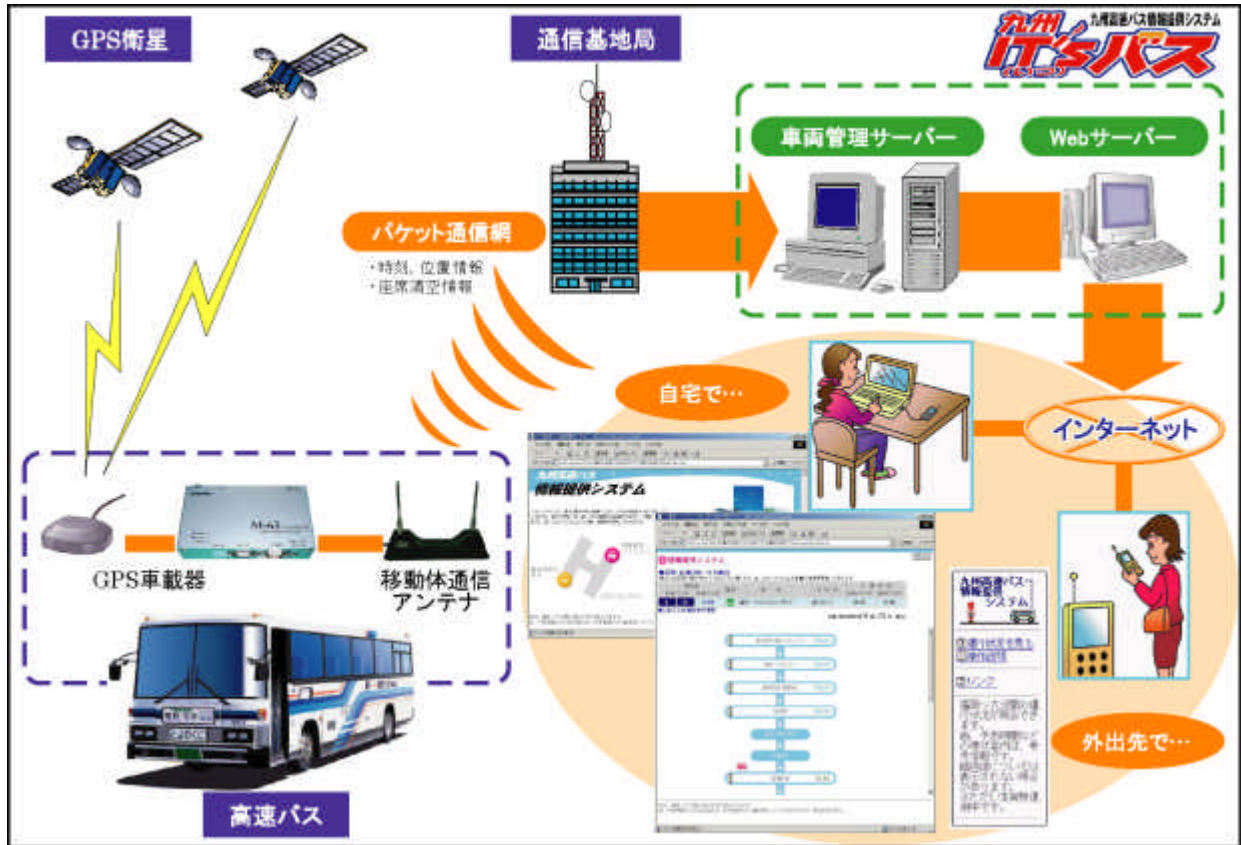
福岡空港の総合的な調査を進め、適切な対応

福岡空港の双方向 I L S () の整備による就航率向上

I L S (Instrument Landing System: 計器着陸装置) は着陸する航空機に対して空港の地上施設から誘導電波を放射し、パイロットはこれを受信し、機内の計器により操縦することにより悪天候時においても所定のコースに沿った安全な着陸を可能とする着陸援助施設である。

バスの位置情報や到着時間等の情報をインターネットや携帯電話に提供する九州高速バス情報提供システム「九州IT'sバス」の充実を図り、バスの利用促進に努める。

また、九州周辺海域における交流の促進や効率化を図るため、次世代型航行支援システム等航路標識の整備をすすめる。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 九州高速バス情報提供システム（九州IT'sバス）概要図

【主要施策・主要事業】

ITS

海上交通環境の向上に資する航路標識の整備（再掲）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

ITS（九州IT'sバス）

航路標識の整備：

関門及び周辺海域におけるAISを活用した次世代型航行支援システムの整備

関門港響新港区における航路標識の整備（再掲）

【重点目標】 地域間の交流・連携を促進する。

- 1

地域間の相互連携の支援、広域交流の促進のため、道路の整備をすすめる。

また、地域の産業再生及び活性化を図るため、フェリー等内貿ターミナルの整備をすすめる。定住及び交流人口の拡大による地域活力の向上に努めるとともに、離島にとって不可欠な生活・産業航路については、船舶の高速化・大型化への対応や就航率の向上等により輸送の安定性・効率性の確保に努める。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 地域連携強化支援道路事業のイメージ図



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 整備イメージ(国道442号竹原峠)

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・幹線道路における道路線形不良箇所解消数 (再掲)	-	約500箇所解消	着実に解消	
・フェリー等国内海上幹線物流機能充足率(再掲)	約60%	約75%	約85%	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

一般国道・地方道の整備

貨客ターミナル整備：鹿児島港

複合一貫輸送ターミナル整備：中津港（再掲）、厳原港、福江港 等

地域交通拠点の整備：西之表港離島ターミナル、比田勝港離島ターミナル、大島港、有川港、中之島港、臼杵港 等（再掲）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

道路改築事業：

国道442号竹原峠道路（福岡県、大分県）【H17年度供用予定】（再掲）

国道387号柿ノ木峠道路（大分県）【H15年度一部,H19年度供用予定】（再掲）

国道385号三田川バイパス（佐賀県）【H16年度供用予定】

国道385号東背振バイパス（佐賀県）【H17年度供用予定】

国道267号久七峠バイパス・久七道路（熊本県・鹿児島県）【H16年度供用予定】

（主）佐世保吉井松浦線 妙観寺工区（長崎県）【H16年度供用予定】

（一）梶寄浦佐伯線 吹浦工区（大分県）【H17年度供用予定】 等

鹿児島港中央港区貨客ターミナル

中津港田尻地区複合一貫輸送ターミナル（再掲）

福江港大波止地区複合一貫輸送ターミナル

厳原港厳原地区複合一貫輸送ターミナルの整備 等

地域交通拠点の整備：西之表港離島ターミナル、比田勝港離島ターミナル、臼杵港複合一貫輸送ターミナル 等（再掲）

- 2

「川の情報室」をはじめとして、河川流域内のあらゆる情報を広く住民が共有化する仕組みを確立し、川の利用や活用を通して地域の交流・連携をすすめる。



資料) 九州地方整備局HP

図 川の情報室



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 川のワークショップの様子

【主要施策・主要事業】

川の発見・再発見プロジェクト（川の情報室、リバーリズム、リバースクール）（全県）
九州川のワークショップの開催による交流（全県）